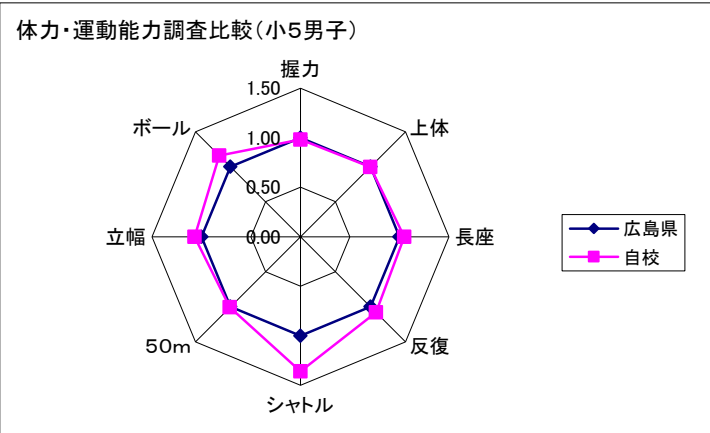
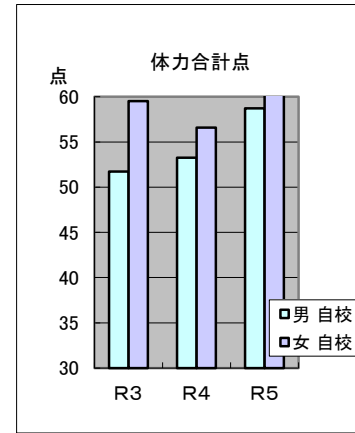
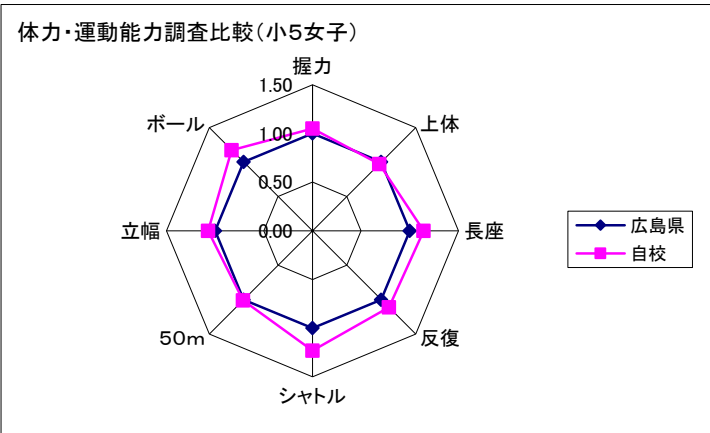


男子の体力合計点 学校58.72点 県平均 54.16点



女子の体力合計点 学校61.38点 県平均 56.22点



R5体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析

① 50m走(呉市の課題種目)
 ・4・5年生の男女, 1・2・3年生の女子が県平均を上回っていた。
 (5年生は令和5年度, それ以外の学年は令和元年度比較)
 ・全力で走る機会が少なかった。

② ソフトボール投げ(中学校区の課題種目)
 ・2・5年生の男女, 1・3・4年生の女子が県平均を上回っていた。
 (5年生は令和5年度, それ以外の学年は令和元年度比較)
 ・くれチャレンジマッチスタジアムの「シヤトルスローリレー」の取組が不十分であった。

③ 長座体前屈(自校の課題種目)
 ・2・4・5・6年生の男女が県平均を上回っていた。(5年生は令和5年度, それ以外の学年は令和元年度比較)
 ・昨年度に比べ, 県平均を上回った児童が増加したが, まだ, 県平均を下回っている学年もある。今年度, 実施した取組の成果が少しずつ表れているので継続して行く。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走)	具体的な取組内容 ・くれチャレンジマッチスタジアムの「ダッシュリレー」等の走種目を実施して, 意欲や走力を高める。 ・体育科の授業の最初に, 鬼遊び等の運動やコーディネーショントレーニングを実施し, 走力を高めていく。
②中学校区の課題種目 (ソフトボール投げ)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・くれチャレンジマッチスタジアムの「シヤトルスローリレー」を実施して, 意欲や投力を高める。 ・くれチャレンジマッチスタジアムの結果を体育館に掲示したり, 取組週間を設定したりすることで, 取組の機会を増やす。
③自校の課題種目 (長座体前屈)	具体的な取組内容 ・家庭学習に柔軟性を強化する内容の運動やコーディネーション運動を多く取り入れる。 ・長座体前屈の測定前に柔軟体操を念入りに行い, 測定する。

※具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)